

# 令和3年5月20日から

ひなんしじ

ひんがせつ

警戒レベル

4

# 避難指示で必ず避難

ひなんかんこく

# 避難勧告は廃止です

警戒レベル

新たな避難情報等

5



災害発生  
又は切迫

きんぎゅうあんぜんかくほ  
**緊急安全確保**※1

これまでの避難情報等

**災害発生情報**  
(発生を確認したときに発令)

~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~

4



災害の  
おそれ高い

ひなんしじ  
**避難指示**※2

•避難指示(緊急)  
•避難勧告

3



災害の  
おそれあり

こうれいしゃとうひなん  
**高齢者等避難**※3

避難準備・  
高齢者等避難開始

2



気象状況悪化

大雨・洪水・高潮注意報  
(気象庁)

大雨・洪水・高潮注意報  
(気象庁)

1



今後気象状況  
悪化のおそれ

早期注意情報  
(気象庁)

早期注意情報  
(気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることとなります。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、

すでに安全な避難ができず  
命が危険な状況です。

警戒レベル5緊急安全確保の  
発令を待ってはいけません！

避難勧告は廃止されます。

これからは、

警戒レベル4避難指示で  
危険な場所から全員避難  
しましょう。

避難に時間のかかる

高齢者や障害のある人は、

警戒レベル3高齢者等避難で  
危険な場所から避難  
しましょう。



ひなん  
「避難」って  
何すれば  
いいの？

小中学校や公民館に行くことだけ  
が避難ではありません。  
「避難」とは「難」を「避」けること。  
下の4つの行動があります。



### 行政が指定した避難場所 への立退き避難

自ら携行するもの

- ・マスク
- ・消毒液
- ・体温計
- ・スリッパ 等



### 安全な親戚・知人宅 への立退き避難

普段から災害時に避難  
することを相談して  
おきましょう。

※ハザードマップで安全か  
どうかを確認しましょう。



普段から  
どう行動するか  
決めておき  
ましょう

### 安全なホテル・旅館 への立退き避難

通常の宿泊料が必要  
です。事前に予約・  
確認しましょう。

※ハザードマップで安全か  
どうかを確認しましょう。



### 屋内安全確保

ハザードマップで以下の  
「3つの条件」を確認し  
自宅にいても大丈夫かを  
確認することが必要です。

想定最大浸水深

※土砂災害の危険がある  
区域では立退き避難が  
原則です。



「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

- ① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない  
(入っていると…)



流速が速いため、  
木造家屋は倒壊する  
おそれがあります



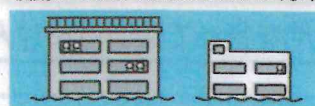
地面が削られ家屋は  
建物ごと崩落する  
おそれがあります

- ② 浸水深より居室は高い

|      |                             |
|------|-----------------------------|
| 3-4階 | 5m~10m未満<br>(3階床上浸水~4階軒下浸水) |
| 2階   | 3m~5m未満<br>(2階床上~軒下浸水)      |
| 1階   | 0.5m~3m未満<br>(1階床上~軒下浸水)    |
| 1階床下 | 0.5m未満<br>(1階床下浸水)          |

- ③ 水がひくまで我慢でき、  
水・食糧などの備えが十分  
(十分じゃないと…)

水、食糧、薬等の確保が困難になる  
ほか、電気、ガス、水道、トイレ等の  
使用ができなくなるおそれがあります



※①家屋倒壊等氾濫想定区域や③水がひくまでの時間(浸水継続時間)はハザードマップに記載がない場合がありますので、お住いの市町村へお問い合わせください。

豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分に確認して下さい。

## “がけ崩れ”の前兆があったら早めの避難を！！

### ◎「がけ崩れ」とは？

長雨や大雨により、地中に染み込んだ雨水により、急斜面が突然崩れ落ちる現象です。

「がけ崩れ」は、地震によって起こることもありますが、崩れた土砂は、斜面の高さの2倍にあたる距離まで届くといわれています。

### 「がけ崩れ」の予兆・前兆現象は？

- ・がけから水が吹き出す。
- ・がけからの水が濁る。
- ・がけに亀裂が入る。
- ・小石がパラパラと落ちてくる。
- ・がけからの音がする。

**このような前兆を確認したら、早めに安全な場所へ避難してください。**



- ・避難とは「難」を「避」けることです。
- ・「避難所への避難」の他、「親戚や知人宅などへの避難（分散避難）」「自宅にとどまる避難（在宅避難）」があります。
- ・土砂災害は自宅から離れることが基本となりますが、緊急の時は崖から離れた2階のより安全な部屋に避難しましょう。

- 避難指示等が発令されたら速やかに避難行動をとる必要があります。なお、突発的な災害では、避難指示等の発令が間に合わないこともあります。避難指示等が発令されなくても、危険を感じたら避難行動をとってください。

大切なことは「自分で判断する」ということです。

※ 長雨や大雨の時にはテレビ等の気象情報にご注意ください。

※ 「土砂災害警戒情報」が発表されたときは非常に危険な状態です。土砂災害警戒情報の発表や避難所の開設などの情報を入手しましょう。

### 情報発信手段

- ・防災行政無線・防災行政無線テレホンサービス（0800-800-0864）
- ・防災メール・防災ツイッター・市公式LINE など

連絡先・問い合わせ先  
印西市総務部防災課危機管理室  
電話：0476-33-4428（直通）  
（平日の17時以降及び休日・夜間は宿直室に繋がります。）

# 新型コロナウイルスの感染拡大防止のためのお願い

避難所では、過密状態にならないようにスペースの確保や十分な換気を行うなどの感染症対策を実施しますが、大勢の人が集まると感染のリスクが高まります。

状況に応じて落ち着いた行動をとり、下記の事項を心掛けましょう。

避難所が過密状態になることを防ぐため、  
親戚や友人の家等への避難をご検討ください

避難の際は可能な限りマスクの着用や、体温  
計、消毒液の持参をお願いします

避難所は十分な換気を行いますので、寒さ対策をしましょう

熱や咳等がある場合は、**現地職員に申し出てください**

避難所では頻繁に手洗い、咳エチケット（※）等の基本  
的な感染症対策をしましょう

（※）咳エチケットとは・・・咳、くしゃみをする際、  
マスクやティッシュ・ハンカチ、袖を使って鼻や口をおさえること

